

議会のうごき	
ACTION	
<b>12月</b>	
16日(金)	◆第35回戦国肥後国衆まつり実行委員会
20日(火)	◆古墳祭実行委員会
22日(木)	◆金栗四三翁マラソン大会実行委員会
27日(火)	◆年末警戒町長巡視
<b>1月</b>	
4日(水)	◆和水町成人式
6日(金)	◆道路整備推進委員会
8日(日)	◆消防出初式
11日(水)	◆平成23年度次世代育成支援市町村トップセミナー
13日(金)	◆広報調査特別委員会 〃 ◆玉名郡町村議会議長会定例会
17日(火)	◆ねんりんピック2011熊本和水町実行委員会
20日(金)	◆地域福祉推進フォーラム
25日(水)	◆全員協議会 〃 ◆議会議員研修会
31日(火)	◆玉名八女線道路整備促進期成会要望式
<b>2月</b>	
3日(金)	◆まちづくりセミナー
4日(土)	◆荒玉地域みんなでいきいきフォーラム
5日(日)	◆第5回和水町分団対抗親善駅伝大会
6日(月)	◆玉名八女線道路整備促進期成会(県へ要望)
12日(日)	◆第35回戦国肥後国衆まつり
13日(月)	◆九州ソーラーファーム2セキアヒルズ発電所地鎮祭
17日(金)	◆城北ブロック消防広域化事前協議
18日(土)	◆プロポーザル一次審査
20日(月)	◆国道443号県道と仁山鹿線玉名八女線道路整備促進期成会要望式
22日(水)	◆第62回定期総会
23日(木)	◆県道玉名立花線等道路開発期成会 要望式
24日(金)	◆全員協議会
26日(日)	◆第6回生涯学習推進大会 〃 ◆菊水ひまわり園音楽発表会
27日(月)	◆平成24年第1回臨時議会
28日(火)	◆城北ブロック消防広域化協議会
29日(水)	◆せきすいや施設連絡協議会
<b>3月</b>	
1日(木)	◆卒業証書授与式(南関高校) 〃 ◆議会運営委員会
4日(日)	◆平成23年度第26回中央公民館まつり
7日(水)	◆平成24年3月定例会(上程)
8日(木)	◆平成24年3月定例会(一般質問)
9日(金)	◆各常任委員会予算審査
12日(月)	◆総務文教常任委員会予算審査
13日(火)	◆卒業証書授与式(菊水中学校・三加和中学校)
14日(水)	◆全員協議会
16日(金)	◆平成23年12月定例会(審議・採決)

編集委員

委員長 小山 晓  
副委員長 豊後 力  
委員 品川 荒木 拓馬  
委員 品川 豊後 拓馬  
委員 中村 慶次  
委員 松村 慶次  
委員 蒲池 恭一  
委員 中村 一博坂本 充司 氏  
(和水町下津原)

## 傍聴席から二言

「幼子の魂は100年続く」というような格言がありますけれども私は、連續32年の長期にわたり議席を温めてきた男であります。すでに引退してそもそも10年近くになりますが、やはり議場の張りつめた空気は私の脳裏から離れる事ができず、折にふれて議場に足を運んでおりました。

またまた本年3月定例議会を傍聴する機会を得ましたので、私の所感を述べたいと思います。議場は活気に満ちておりました。が、議会と執行部とのあり方につきましては若干物足りない面も見受け

られました。超高齢社会が進行する中にあつて、教育問題を始め諸課題が山積している事を各議員の質問と執行部の答弁から感じ事が出来まして、私は新しい「宝」を頂いた気がいたしております。各議員の真剣な質問をお聴きしたなかで私なりに感じたことを率直に申しますと、質問の中身が議会と執行部の「高いレベル」の問答とは思えない、むしろ事務当局に質問すれば直ちに解明できる項をわざわざ貴重な時間に入れるのは如何なものであろうかと、云う気がいたしてなりません。老兵の独り語かもしません

が、議場の神聖な討論の場が今後、益々研さんを積まれ、高度化されうことを願いながら折りに見て議会傍聴に伺う所存であります。くとも一度は和水町議会の空氣に接して頂くなればと、云う想いがいたしてなりません。

町民各位に於かれましても、少なくとも一度は和水町議会の空氣に接して頂くなればと、云う想いがいたしてなりません。

## 人／事／案／件

3月議会定例会において、教育委員会委員・固定資産評価審査委員会委員が、次のとおり選任され、全会一致で承認されました。

- 教育委員会委員 小出 正泰 (昭和26年12月18日生)
- 固定資産評価審査委員会委員 坂本 政光 (昭和19年8月26日生)
- 橋本 猛 (昭和24年11月6日生)
- 高木 始 (昭和26年2月10日生)

編集後記



木々の緑が日毎に色づき、過ごしやすい季節に成つて参りました。

3月議会定例会は、3月7日

から3月16日までの会期で開催され、町長の施政方針演説、23

年度の補正予算、24年度の当初予算等を審議し、可決いたしました。一般質問では5名の議員が登壇し、活発な議論を開催致しました。

昨年3月11日に発生した「東日本大震災」多数の死傷者や行方不明者をもたらし、あらゆる住民生活に壊滅的打撃を与え、自然災害の怖さを改めて思い知らされました。町民の皆様一人

人が防災対策を再確認し、安全に暮らしたいものです。今後とも皆様に親しまれる議会だよりをお届けできるように、広報委員一同頑張ってまいります。町民の皆様のご健勝を祈念申し上げ、編集後記といたしました。

広報委員 松村慶次



◎この広報紙は地球環境にやさしい植物油型インキを使用しています。

R100  
古紙配合率100%再生紙を使用しています。